

2月27日から3月定例会市議会が開かれ、朝長市長が市政運営の方向性や具体的な取り組みなどを示す「平成25年度施政方針」を説明しました。その内容を抜粋、要約してお知らせします。

施政方針

成長戦略  
安全・安心  
地域の絆

### みかわち焼 はまぜん祭り

焼き物を窯で焼く時に使われる道具「はまぜん」は、一度使用されると捨てられてしまいますが、焼き物を作るときには欠かせない大切な存在です。はまぜん祭りでは、このはまぜんに深く感謝の意を表し、供養を行います。この供養に合わせて、三川内皿山一帯では、窯元を中心に焼き物の展示販売や佐世保スイーツとみかわち焼のコラボ青空カフェ、スタンプラリー、オークションなど、多彩なイベントが開催されます。皿山の情緒あふれる景観や、窯元の人たちと直接触れ合いながらの買い物などを通して、焼き物の里「みかわち」をたっぷりとお楽しみください。

とき 5月1日(水)～5日(日・祝)9時～17時  
ところ 三川内皿山一帯  
お尋ね はまぜん祭り実行委員会(今村さん)  
☎090-3463-9095

たいへい「泰平や」三川内町768  
はたご明治15年に建てられた旅籠を改装した施設。みかわち焼に関する資料等が展示され、期間中は焼き物も展示販売されます。



## CONTENTS

03	特集1	平成25年度 施政方針
09	特集2	海のマテ貝 里のオリーブ
19	市政通信	市職員採用試験(保育士、化学担当、臨床検査技師)の実施 など
14	イベント情報	16 施設だより 20 お便り、広報クイズ「カーネーション」プレゼント
21	レシピ	「朝食グラタン」、させぼ日和「島の磯に訪れた緑色の春」 22 暮らしの情報
26	健康と福祉	30 シリーズ 佐世保の水「これからの佐世保と水」、徳育通信
31	歴史散歩	「森吉家のあげ米蔵(日宇町)」、離島限定のプレミアム付き商品券を発売! など
32	長串山つつじまつり	



# 市政発展のさらなるステップの年に

美しい、楽しい、おいしい  
3つの「しい」がそろったまち

本年は市制施行111周年であり、「1」が3つ並ぶ縁起の良い年です。私はこの年を「市政発展のさらなるステップの年」、言い換えると「佐世保から元気を」という強い思いで、本年度から始まる第6次佐世保市総合計画・後期基本計画をスタートさせたいと考えています。

後期基本計画の「成長戦略」、「安全・安心なまち」、「地域の絆」という3つの重点プロジェクトと併せ、私は「美しいまち」「楽しいまち」「おいしいまち」の3つの「しい」のまちを市民



3月定例会市議会で施政方針演説を行う朝長市長

の皆さんと共に創り上げていきます。3つの「しい」がそろったまちは、人が住み続けたい魅力的なまちであると思います。市民の皆さん一人一人が「そういうまちにしたい」という思いを持ち、さまざまな場面でまちづくりに参画し、行動していただきたいと思います。私たち行政もチャレンジ、チェンジ、「コミュニケーション」の3つの「C」を旗印に、「やぶ」に進化する市政」を目指し、職員一丸となって取り組みます。

## 成長戦略プロジェクト

本市の持つ地域経済の特徴を生かし、成長力を強化することで地域活性化を図るのが「成長戦略プロジェクト」です。国内外における地域産品の販路拡大・売上増加や観光客の増加、企業立地の実現を目指します。

佐世保工業団地「ウエストテクノ佐世保」については、本年中の完成を目指し、企業誘致活動を強力に展開します。

「東アジアへ向けた九州サブゲートウェイ構想」の一環である多目的国際ターミナル整備事業については、26年度の完成を目指し、外国人観光客の受け入れを行うターミナル施設や防災機能も併せ持つ耐震強化岸壁の整備を推進します。



「(仮称)させぼ五番街」の完成イメージ図

本年11月の開業を目指して進められています。

三浦地区みなとまちづくり計画や栄・常盤地区市街地再開発事業によって生まれる新たなまちと既存商店街をはじめとした地域の方々、本市が一体となって、活力と魅力ある中心市街地づくりの取り組みを進めていきます。

観光客の集客対策については、国内外へ「佐世保の魅力」を発信し、新たな可能性として、「統合型リゾート誘致」の具体的な検討を行います。

特に東アジアに向けた経済交流を深めるため、市内企業の海外ビジネス展開については、海外ビジネスセミナーやミッションツアーの実施などに対する支援を行います。

## 安全・安心なまちプロジェクト

防災や医療、耐震対策のインフラ整備などを示したのが「安全・安心なまちプロジェクト」です。東日本大震災の教訓を踏まえ、災害や緊急事態を想定したハード・ソフト両面の防災・緊急対策を講じ、日々の暮らしにおける安全と、市民の尊厳生命や財産を守ります。

防災・減災事業については、防災施策費の財源を確保するために引き上げられる個人住民税と、国が新設した起債を活用して進めるため、推進本部を設置し、本年度中に防災・減災計画を策定します。

救急医療体制については、「佐世保市立総合病院救命救急

センター」の26年度からの本格稼働に向けての準備を進め、初期から二次救急医療体制の充実・強化を図るため、「二次救急輪番・搬送体制の強化事業」を推進します。

## 地域の絆プロジェクト

地域コミュニティの活性化や市民協働によるまちづくりを推進するのが「地域の絆プロジェクト」です。

まちづくりの基盤である自治会などの地域コミュニティの活性化を図り、NPO等を支援しながら、高齢者福祉や子育て支援など、暮らしのさまざまな分野における協働によるまちづくりを進めます。

特に地域コミュニティ活動の支援・活性化については、「佐世保市地域コミュニティ推進指針」に基づき、モデル事業の実施検証に取り組みます。

交通不便地区対策については、地域と事業者と行政で支える「予約型乗合タクシー」を導入する地区の拡大を図るなど、交通不便地区の解消に努めます。

## 重要課題

るものと期待しています。基地政策の最重要課題「前畑弾薬庫の移転・返還」についても、一昨年1月の日米合同委員会合意に基づき、前畑弾薬庫の移設が国の事業として推進されています。崎辺地区の利活用に関しては、これまで本市は西海市米海軍横瀬貯油所のLCAC施設整備後における崎辺地区跡地の日本側への返還、海上自衛隊の係留施設等の整備、海上自衛隊による崎辺地区の利活用を具現化するものとして、潜水隊群の誘致について国に要望してきました。昨年3月末には横瀬貯油所LCAC施設整備事業が竣工し、本年2月に、日米間で正式に施設提供手続きが完了したところであり、引き続き、崎辺地区跡地の日本側への早期返還を国に求めていきます。佐世保港を活用した地域経済の発展といった観点から、「新返還6項目」の早期実現と「海上自衛隊による崎辺地区の利活用」「前畑崎辺道路」の早期着工について、引き続き努力を傾注していきます。

## 石木ダム

慢性的な水源不足の抜本的解決策として進めている石木ダム建設事業については、長崎県・川棚町と連携し、全力を挙げて推進しています。平成21年度から手続きが進められていた国のダム検証は、昨年6月に「事業継続」との対応方針が示されました。21年度に申請していた事業認定申請手続については、3月22日と23日に公聴会が開催されることが公表され、手続きが進むものと考えています。本市の水問題は喫緊の最重要課題であり、石木ダム建設に同意をいただけない地権者の方々との対話のお願いを続けていきます。

## 基地政策

「新返還6項目」については、赤崎貯油所に係る2項目が完結し、立神港区第3・4・5号岸壁の一部の返還についても進捗が図られており、港のすみ分けが一層進展す



栄・常盤地区市街地再開発事業が進められている三ヶ町アーケード



# まちづくりのフリの基本目標と主な施策

## 雇用を生み出す 力強い産業のまち

「地場産業の振興」については、融資利率の引き下げを行い、市内企業の資金需要に的確に対応するなど、実情に応じた対策を講じます。

相浦中里インターチェンジ用地における情報発信機能等を兼ね備えた地域振興施設整備については、地元や国県等の関係機関と調整を図り、25年度は事業候補者の選定や施設の設計などに取り組みます。

「ウエストテクノ佐世保をはじめ、現在分譲中の「吉井町御橋工業団地」「鹿町町工場適地（職業訓練校跡地）」については、早い時期での分譲完了を目指し、長崎県や長崎県産業振興財団との連携を図り、企業誘致活動を進めます。

畜産業については、昨年、長崎県勢が和牛の祭典インながさき（肉牛の部・第8区）で日本一の座を獲得したことから、この絶好の機会を生かし、「佐世保

うまれ佐世保そだち」の長崎和牛の産地としての地位確立に努めます。

また、市民のアイデアを基に商品化した「させほ☆スター商品」や戦略産品を中心にプロモーションを行うなど、「させほ産品」の積極的な販売促進に努めます。

## あふれる魅力を創出し 体感できるまち

国際政策の推進については、中国、韓国各拠点都市等との交流促進や関係構築を図るため、国際交流員や海外自治体職員を受け入れ、体制を充実させて取り組みます。

観光客の誘致促進については、ホームページやフェイスブックを活用し、四季折々の佐世保の魅力が題材とした全国的なフォトコンテストの実施や観光・周遊パスの導入の検討を進め、佐世保の新しい魅力を提案します。九十九島動植物園「森きらら」では、新ペンギン館をオープン



市民文化ホール(旧佐世保鎮守府凱旋記念館)

させるとともに、アニメキリンなど人気動物の導入を図り、ハード・ソフト両面から「また行きたい」と思っていただけける魅力ある動植物園づくりを推進します。

本年は、全国から約2万人の高校生が集う高校生最大の文化の祭典「第37回全国高等学校総合文化祭2013長崎しおかぜ総文祭」が長崎県で開催され、本市も吹奏楽や書道など6つの部門の会場となりますので、おもてなしの態勢整備を含め、準備を進めます。

市民文化ホールについては、

## 日本最大(約90㎡)の天井水槽! 九十九島動植物園「新ペンギン館」



平成26年1月のオープンを目指し、現在建設中の「新ペンギン館」の一番の見どころは「日本最大(約90㎡)の天井水槽」。1階の天井部分のほとんどを水槽にして、元気に泳ぐペンギンを下から見上げて観察できる造りになっています。また、水槽上部には屋根がなく、水槽越しに空が見えるため、晴れた日などにはペンギンが空を飛んでいるように見えます。その他の見どころなどは本紙で随時お知らせする予定です。どうぞお楽しみに。構造：鉄筋コンクリート造3階建て(地下1階は貯水槽) 建築面積：573.5㎡ 九十九島動植物園 ☎28-0011

## 魅力ある 動植物園づくり



の提供を実施します。

中央公民館と子ども発達センターは、栄・常盤地区市街地再開発事業の進捗に伴い手続きを進め、中央公民館は平成25年度(一部を26年度)の供用開始を、子ども発達センターは26年度の供用開始を目指します。

「徳育」の推進については、「徳育推進のための行動計画」に基づき、民間団体「佐世保徳育推進会議」と連携しながら、その重要性について官民協働で広く市民へ周知・啓発を行い、「一徳運動」の普及に努めます。

本年は全国高等学校総合体育大会空手道競技や長崎がんばらんは国体競技別リハール大会(次ページ参照)を開催します。特に国体については広報啓発活動に努め、本番に向けた課題抽出や改善点の検証等を行います。

築90年を迎え、老朽化が進んでいるため、耐震補強や可能な範囲での建築当時のデザイン復原など大規模な改修を行い、登録有形文化財として、これからも市民に親しまれ活用される施設として、後世に引き継ぎます。

## 健康で安心して 暮らせる福祉のまち

総合病院においては、地域医療支援病院として、地域の保健・医療施設との連携強化に努め、地域全体の医療の質の向上を目指し、市民の皆さんに良質

で先進的な医療サービスを提供していきます。

市立看護専門学校については、老朽化のため、県の看護研修センター機能を併せ持つ施設として27年度の供用開始を目指して建て替えを行います。

福祉活動プラザ(仮称)については、栄・常盤地区市街地再開発事業の進捗に伴い、財産取得の手続きを進め、26年度の供用開始を目指します。

高齢者が身近な地域で自立した生活を営めるように、4月から地域包括支援センターを再編・増設し、「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを進めるとともに、相談体制の充実を図ります。

## 心豊かな 人を育むまち

子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりを推進するため、子育て環境の整備を行います。

本年9月から佐世保市学校給食センターを本格稼働することにより、市立全小・中学校において、安全でおいしい完全給食

応援をよこぐお願ひします!



2013

長崎しおかぜ総文祭

全国から2万人の高校生が集結

佐世保市会場の部門別日程など

- 合唱  
8月4日⑩▶アルカスSASEBO
  - 吹奏楽  
8月1日⑨~2日⑩▶アルカスSASEBO
  - 日本音楽  
8月2日⑩~3日⑪▶佐世保市民会館
  - 書道  
7月31日⑨~8月3日⑪▶佐世保市体育文化館
  - 写真  
7月31日⑨▶市内で撮影会
  - 協賛部門  
特別支援学校▶7月31日⑨▶JR佐世保駅周辺
- ☎ 社会教育課 ☎24-1111



人と自然が  
共生するまち

市民の自発的な環境保全活動の実践を促すため、地球温暖化や自然環境保全をはじめとする環境問題に関する啓発に努め、学校における環境教育の支援や市民への環境学習の機会の提供などを行うことで、環境に配慮して行動できる「環境市民」の育成を図ります。

大気汚染や水質汚濁等の監視を行うとともに、環境負荷の発生を抑制するため、事業者等への指導、啓発などにより身近な生活環境の保全に努めます。

公共下水道の整備については、中長期計画に基づき、主に中部処理区の早岐、広田地区、西部処理区の日野、相浦、新田地区の事業を継続しながら、江迎処理区の田ノ元地区においても公共下水道の利用が順次可能となるよう、計画的・効率的に整備を進めます。

安全な生活を  
守るまち

防災・危機管理体制の充実と地域における防災力の向上のため、防災行政無線による全市一体的な情報伝達体制づくりに取り組み、自主防災組織の結成促進と育成に努めます。防災行政無線を補完する対策として、「ミニコミュニティFM」の活用を図ります。また、大災害に備え、食糧などの備蓄を計画的に行います。

今定例会に条例議案を提案していますが、空き家等の適正管理に関する条例を制定することにより、所有者等に対して自主的な維持管理などを促し、安全で安心な社会空間の確保に努めます。

東消防署の建て替えについては、設計に着手し、消防団や地域住民の方々が救命や防災知識についての研修を行えるような施設にします。

快適な生活と  
交流を支えるまち

昨年、九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の長崎市までの延伸と、フリーゲージトレインによる同ルートの運行が認可されました。

県北住民の「苦渋の選択」を余儀なくされた結果生まれた長崎ルートの効果を、県北地域にも波及させるためには、フリーゲージトレインの佐世保市への乗り入れをはじめとしたJR佐世保線等の輸送改善が不可欠です。県と連携し、要望活動や調査等を行いながら進めていきます。

道路交通網の整備については、西九州自動車道を軸とした幹線道路ネットワークの充実や、合併地域における新市一体化につながる道路整備など、幹線道路・生活関連道路の整備促進に努めます。

平成25年度当初予算の概要は来月号でお知らせします。



長崎がんばん国体  
競技別リハーサル大会一覧表

問 国体推進室 ☎76-7103

種目	大会名	日程	会場
バレーボール	平成25年度(第65回)長崎県高等学校総合体育大会バレーボール競技	6月3日⑧ ～6月4日⑧	体育文化館
アーチェリー	第46回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会	6月15日④ ～6月16日⑥	総合グラウンド陸上競技場
軟式野球	第35回西日本軟式野球大会(2部)	6月29日④ ～7月1日⑧	総合グラウンド野球場など5会場
ソフトテニス	平成25年度男子第58回・女子第57回全日本実業団ソフトテニス選手権大会	7月27日④ ～7月28日⑥	総合グラウンド庭球場など2会場
ハンドボール	第18回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	8月11日⑧ ～8月14日⑧	東部スポーツ広場体育館(仮称)など5会場
自転車 [トラック]	第48回全国都道府県対抗自転車競技大会	8月26日⑧ ～8月27日⑧	佐世保競輪場
ホッケー	2013年度全日本社会人ホッケー選手権大会	9月14日④ ～9月18日⑧	県立佐世保青少年の天地など2会場

特集2

海のマテ貝  
里のオリーブ



新しい特産品づくりを目指し生産者の皆さんを後押しする農水産物産地化・ブランド化事業。ことしに入り、地元産のマテ貝とオリーブのブランド化計画を新たに認定しました。

この特集では、生産の現場やブランド化への取り組みなどをお知らせします。

佐世保市農水産物産地化・ブランド化事業  
地元農水産物の付加価値と生産者の所得向上を目的に、平成23年度から開始。本市は初年度に「九十九島岩がき」「西海・瀬付き恵あじ」「ジャンボニンニク」「九十九島とらふぐ」の4品目を認定し、生産者が行う商品開発や販路開拓などを支援しています。

問 産業振興課 ☎24-1111

